


みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
 天神3丁目11番31号
 電話 23-5144

「燃やせないごみ」のゆくえ

私たちがもう使わない「燃やせないごみ」として出している“もの”たちが、その後どのようにして処理をされているかご存知ですか？

私はごみ減量アドバイザーになるまでは、そのまま最終処分場に持ち込まれているものと思っていました。ところが施設に見学をして驚きました。作業員の方々が一つひとつ袋を開け、ガラス・空き缶・鉄もの・プラスチック等に分別していたのです。そこでは、リサイクル可能な物を取り出し、最終処分場に持ち込む物を出来る限り減らしていたのです。その量は1/10近くにもなっていました。（焼却灰を埋め立てている上田市の最終処分場も満杯に近い状態です。）

分別をした中には自治会やウィークエンドリサイクルに出せるような資源も多数ありました。「めんどくさい」とか「まあ、いいや」で燃やせないごみに出された物は、最終的に税金を使って処理をされています。

不用品を生み出さないような生活スタイルに、変えていかなければならないと痛感した一日でした。

「ちょっとした工夫」

我が家の両親は高齢で、ごみの分別があまり理解できていません。「雑がみ」で出せる物も「燃やせるごみ」に数多く混ざっており、自分が分別を行っています。

紙類はすべて「燃える」という認識で、いくら説明をしても理解されません。そういう自分もAKB48と乃木坂46の違いが全く分かりませんので、人の事は言えませんが・・・そこで、少しでもと思い、トイレに雑がみ回収袋（小）を置き、「ここにトイレトペーパーの芯をいれて」とお願いしたところ、きちんとやってくれています。ほんの僅かな事で、大きな成果には程遠いが、負担なく分別できるのでずっと続いています。これから他の「雑がみ」についても、自然に分別が出来るよう工夫をしていこうと思います。

☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

☆手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

6月2日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

平成29年6月号

1	木	
2	金	古着回収日 10時～12時
3	土	休館日
4	日	休館日
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	休館日
11	日	休館日
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	着物地～トートバック作り①
16	金	
17	土	休館日
18	日	休館日
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	着物地～トートバック作り②
23	金	
24	土	休館日
25	日	休館日
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

《様々な気づき・雑感》

一年間、ごみ減量アドバイザーとして活動する中で、様々な気づきがありました。

① ウィークエンドリサイクル

立ち会いをしていると、毎回多くの方がきちんとルールを守って資源ごみを持ち込んできます。自治会回収だけでなく、この様に毎週資源ごみを受け入れてくれる機会がある事と、また親子で資源を分別していく姿が微笑ましく、まさに親のうしろ姿を見て学ぶ環境教育だと感心しました。

② 「ごみ減量化機器」の使用実態調査

補助金を利用して購入した機器のその後の使用状況を、私は100軒以上のお宅に電話をして聞き取り調査。なんと殆どのお宅がほぼ毎日、機器を活用して生ごみの減量に貢献されているという結果にとっても驚きました。しかも野菜の皮などは一度乾燥させてから機器に入れるなど、ズボラな私から見ると、「ひと手間」かけており、見習いたいと思いました。。

③ シンプルライフを目指したい

ある旅番組を見ていて、深イ言葉に出会いました。北欧のスウェーデン、厳しい自然の中でシンプルに生きる人々と出会ったレポーターが旅の締めくくりに感じた言葉。

『常に未来に備えよ！備えとは、己を簡素にする事である』

寒さが厳しい程、人は自ずと「準備」をします。だから日常が「簡素」で合理的になるのだと。なるほど！色々な意味で生活が複雑になり過ぎ、多くの物に囲まれて生きている私達にとって、本当の豊かな生活とは？と考えてしまいます。必要な物、必要な時、必要なだけ持つ。こんな簡素な暮らしであれば、自ずとごみも減ってくるはずです。

もっと身軽に！もっとしなやかに！もっと心豊かに！とそんな思いが湧いて、いい気づきが出来たと・・・。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします(申込不要)。

★生ごみ処理基材「ぱっくん」は、4月1日から、無料で配布しています。

生ごみを燃やさず、有効活用しましょう。ご協力ください。

“焼却炉がギブアップです！！”



◎わくわく講座（参加費各回 100円）

申し込みは6月1日（木）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）。

★着物地からトートバック作り（定員8名）

不要なものがリサイクルやリフォームで生まれ変わる楽しさを体験しませんか。

日時：6月15日（木）、22日（木）午前10時～午後3時（2回コース）

持ち物：着物（ほどいて）、裁縫道具、裏用布、昼食

諸経費：100円

材料費：（芯・紐）別途

◎古着回収

エコ・ハウスでは、6月2日（金）午前10時から12時まで、不要になった衣類の回収を行います。

毎回、多くの市民の方が衣類を持ってこられ、「捨てるに捨てられず困っていましたが、利用してもらえて良かった！」と感謝して帰られる方が大変多く、サポーターも汗だくですが、回収を始めてよかったと思っています。

『原則毎月第一金曜日』午前10時～12時が回収日です。ごみ減量のためにご協力をお願いいたします。

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 TEL23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>